

12/11 地熱発電用の還元井を掘削 湯の谷地区での地熱発電事業



調査状況を説明する湯の谷グループの担当者(左奥)

湯の谷地区で地熱発電事業を計画している(株)フォーカス、(株)レノバ、デナジー(株)(湯の谷グループ)は、6～11月にかけて行った地熱井掘削調査の報告と、今後の計画などを阿蘇山西部地域地熱資源活用協議会に説明しました。

当グループは、地熱井掘削調査前後において周辺に特段の変化が見られなかったことや、持続的に発電可能な資源量を見極めるため、次の段階である還元井(熱水や水を地下深くへ戻す井戸)を、各種法手続きを進めながら掘削することなどを説明しました。

12/7 イノシシの被害は自分たちで守りたい くまもと☆農家ハンターの取り組み

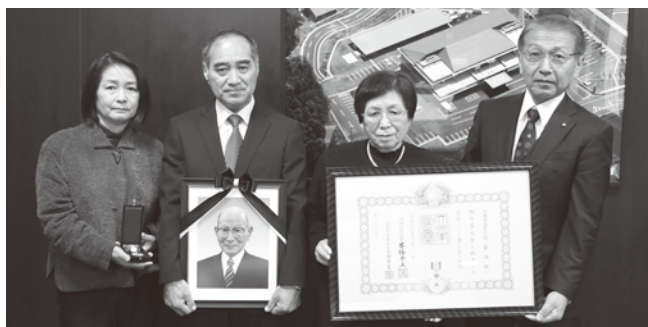


講演する宮川さん

深刻化するイノシシなどによる農作物の被害、猟友会員の高齢化によるイノシシの個体数増加の抜本的な対策方法を見出そうと、担い手育成支援事業の一環で講演会(村認定農業者会主催)が役場大会議室で開催され、村内の認定農業者、農業委員、猟友会など80人が参加しました。

講師の(有)宮川洋蘭 専務取締役 宮川将人さんが「くまもと☆農家ハンターの取り組み」を講演。箱罠の捕獲方法や止め刺し、IOT技術を取り入れ、新規就農した25歳～40歳のグループでイノシシの捕獲に取り組まれています。「イノシシを通じての地域の交流」の言葉に感動した参加者からは貴重な質問も多くありました。

12/25 旧村の発展向上に尽力 故後藤益雄さん(両併二)



(左から) 親族の後藤一美さん、良雄さん、リツ子さんと吉良村長

故後藤益雄さん(両併二)が旭日単光章を受章され、吉良村長から遺族の後藤リツ子さんへの伝達が役場で行われました。

故後藤さんは、平成3年から平成15年までの3期12年旧白水村議会議員として在職。

文教常任委員、議会議長として要職を歴任され、村政全般に非凡な才腕をふるい、村財政の堅実な運営と基盤の確立に努め、旺盛な責任感と情熱を持って旧白水村の発展と民生の庵手に貢献し、村行政の基盤を固めるなど村の発展向上に尽力した功績が認められての受章となりました。

12/21 災害共助の課題紹介「災害に強いまち」を考える 北九州市立大学 榎原ゼミ研究報告



成果発表を行う学生たち

学生がまちの問題を定義し解決策を提言する日本公共政策学会主催の「公共政策フォーラム2017in熊本」[政策コンペ]で、北九州市立大学(福岡県)の「榎原ゼミ」が「災害に強いまちづくり」を目的に、熊本地震での本村の災害対応などを事例にした研究発表を行い熊日賞を受賞しました。

同ゼミの学生5人は、「議会復興・地方創生対策特別委員会」で、村議会議員や村職員を前に、フォーラムでの成果発表を役場大会議室で行い、終了後は、議員との質疑応答や、意見交換が行われました。